

平成30年度 庄内支部 勉強会報告

「第5回 庄内支部勉強会 一症例検討会 (北庄内 2回目)」

開催日時：平成30年10月24日(水) 19:00～20:45 会場：庄内余目病院 参加者28名

今年5月に同会場にて開催した「一症例検討会」(北庄内)、2回目の勉強会が開催されました。脳梗塞による左片麻痺、合併症に心不全を呈する症例の各病期における治療経過を担当セラピストより報告頂いた後に、ディスカッションという流れで会は進められました。初めに急性期の担当であった大須賀 唯香氏より前回の振り返りから退院までの経過を報告頂き、続いて生活期の担当 新野 冬子氏よりサービス利用開始～現在までの経過を報告頂きました。自宅内の歩行や生活動作、環境など映像資料も多く退院後の自宅での様子が分かり易い内容だったと思います。ディスカッションでは歩容の変化に対する対応や環境調整、福祉用品の選定に至るまで、様々な視点から意見が交わされました。退院後、活動性の低下から約2週間程で廃用が進む、という報告もありますが、生活期においてもADL・IADLの状況を生活環境にて確認し、予後を見据えたPT評価を行う重要性を再認識する事が出来ました。病期間の連携には顔が見える関係性も大切だと思います。庄内支部が開催する各研修会をぜひご活用下さい。(文責 庄内支部 矢島慎也)



